



〒954-0052

見附市学校町 2 - 7 - 9

電話 / Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp

令和5年5月22日 NO.2

保育園の散歩の様子

「伝承館」脇を歩く園児

「まちと産業を元気にする」学校教育

見附市教育長 渡邊茂夫



「(前略)加えて、地元での起業・創業をはじめ、チャレンジを身近に感じて、積極的に行動できる人材を子どもの頃から育成するため、市内の小中学校において、出店体験、新商品開発体験等の起業家教育を推進します。」

見附市議会令和5年3月定例会において、稲田市長が令和5年度の施政方針の中で述べられた内容です。「暮らし満足No.1のまち」の実現に向けて重要となる7つの考え方の1つ目である「まちと産業を元気にする」の中に位置付けています。

起業家教育は、会社を興すための教育ではなく、どこに課題があるかを見極めて、解決していく力をつける教育です。アントレプレナーシップ教育とも言われます。起業家的なマインド(チャレンジ精神、創造性、探究心、等)と起業家的な資質・能力(情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力、等)を有する人材を育成する教育です。これらは令和の日本型学校教育において子どもたちに育むべき資質・能力と重なるものです。

アントレプレナーシップ教育については国や県も重要視し、県は昨年11月に行われた令和4年度新潟県総合教育会議のテーマに取り上げました。その会議資料の中の取組事例として市内西中学校の実践が取り上げられ、「模擬企業を立ち上げ、保護者を株主と見立てた株主総会を開催し、企業理念や商品の説明、資金の算出、出資依頼をするなど、資金集めから販売に至る過程を体験的に学習する活動を行っている。」と紹介されています。

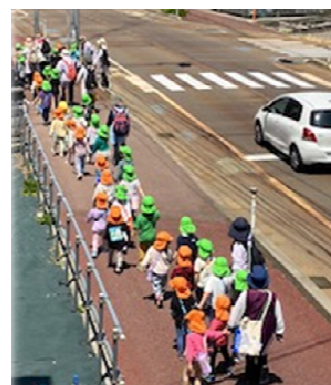
市内各学校のこれまでの実践の中で、新商品開発体験としては、新潟小学校における見附産のニラを有名にするためのレシピづくり、田井小学校における「耳土のおやつ」づくり等の実践をお聞きしています。出店体験は市内のどの学校でも取り組んでいるのではないのでしょうか。

令和5年度見附市学校教育の重点に、アントレプレナーシップ教育を位置付けています。各学校において、身に付けさせたいマインドや資質・能力を明確にした積極的な取組をお願いします。

巻頭写真に寄せて 「三寒四温」の繰り返しですが..

◇今春は3月の暖かさで桜の開花が早く、4月を待たず桜の季節を迎え、その後も初夏を感じる日が続き、例年以上にゴールデンウィークが楽しみでした。ところが、4月下旬から典型的な「三寒四温」の気候で、体調管理が難しくなり、それも、週末になると、雨降りでとても寒い日になりました。

◇そんな中、5月12日(金)は晴れて、朝から気持ちの良い日でした。教育センターは伝承館の二階です。10時半頃、外から子どもたちの声が聞こえます。覗くと近所の本所保育園児が散歩をしています。(巻頭写真)緑帽子とオレンジ帽子の子どもが二人で手をつなぎ、きちっと歩いています。緑帽子の子どもの体が大きいです。年長さんでしょうか。その子どもたちが道路側で、オレンジ帽子の子どもたちを守るように歩いています。それぞれ20数名です。その外側を7・8名の先生方が、車や信号機等だけではなく、子どもたちの様子に気配りをしています。(黄色○印の先生は、振り返りながら、子どもたちに細心の注意を払っています。)雨降りや寒い日なら、園内で過ごしていたことでしょう。久しぶりの散歩を楽しむ園児たちや先生方から、元気をいただき、この日は大変に仕事がはかどりました。



散歩(帰路)の様子

コラム 「教育活動を今、見つめ直してみてもは..」

◇新型コロナウイルス感染症が、5月8日(月)から5類感染症になり、スポーツの試合や観劇等で、入場制限がなくなり声出し応援も可能となった。14日(日)から始まった大相撲5月場所は、満員御礼の垂れ幕の下、ひいき力士への拍手や声援で、テレビ観戦でもすごい熱気が伝わってきた。また同日、サッカーJ1のアルビレックス新潟 VS 横浜F・マリノス戦もテレビ観戦をした。素早い攻守の切り替えから、三戸選手がミドルシュートを決めて逆転。この瞬間、テレビに向かい「やったー！」の歓声を上げたが、スタジアムで、サポーターと一緒に喜びを分かち合いたかったものである。

◇5類移行が話題に上るようになった頃から、これまで、中止や延期になっていた会議や会合、特に、飲酒を伴う会合等が開催をされるようになった。年度末年度始の歓送迎会を3年ぶりに行った職場もあったであろう。

◇さて、私が会員になっている研修会で、過日、役員会が開かれ、今年度の「総会」の持ち方が話し合われた。昨年まで続いた書面決議ではなく、「集まって総会を行うこと」は、全員の賛成で決まった。その後、「懇親会を行うか」が話し合われた。上述のように、社会の流れの中で実施するだろうと思っていたが、A氏「私は高齢な両親と住んでいる。私が感染して両親にも感染させたら..、面倒をみることができなくなったら大変..」、B氏「私自身が高齢者である。感染のリスクを負ってまで、懇親会に出たくはない..」等の意見が出た。長い話し合いの結果、「懇親会は行う。ただし、無理をしないで、可能な人で実施する」に決まった。この会議を通して色々と考えた。

◇「やめるやなくすこと」は簡単であるが、「どうやったらやれるか」を様々な角度で一生懸命に考えることが大事である。3年前までやってきたことを、元のままやることも大事であるが、新たな形で実施することを考える必要がある。このことは、学校でもいえることだ。何でも踏襲ではなく、何をやめ何を残すかは、いつの時代も決断を迫られるが、ウイズコロナを迎えた今、教育活動を見つめ直す時なのではないかと思う。(こ)



科学教育部



イトトンボ
国営越後丘陵公園にて

【5,6月の研修案内】

1	【植物観察会】 講師：五百川 裕 様 (上教大教授)	5月29日(月) 15:10~16:40 会場：大平森林公園	校外の活動で活用できる「大平森林公園」で植物観察会を行います。散策して里山の植物を観察します。植物の魅力を感じることができる研修会です。小学校はもちろん、中学校でも生物の分類の新単元で活用が期待できます。
2	【第2回理科主任会】	5月31日(水) 15:30~16:45	第2部では、県立教育センターより指導主事である篠田英様をお招きし、理科学習の充実に向けた「授業改善」についての研修を行います。
3	【小3~6 天体を学ぶ】	6月15日(木) 15:40~16:40	小3~小6の天体学習のポイントとICTを活用した天体指導について研修します。
4	【小5雲と天気の変化】	6月29日(木) 15:40~16:40	ChromeBookを活用した指導について研修します。

※研修会の申込については終了していますが、新たな参加希望も大歓迎です。希望がありましたら教育センターまで、電話もしくはC4thの「個人連絡」を活用して申込をしてください。

教材はそろっていますか？

3月31日にキャベツ(4個)とジャガイモ(3バッグ)を植えました。5月1日にハウセンカ(現在100ポット)を植えました。キャベツにはモンシロチョウの卵がついています。ハウセンカ(さらに、100ポット追加予定)必要な学校は連絡ください。



科学の公園

メダカの飼育～たくさん産卵させてください～

第一回理科主任会で各校にヒメダカの配付を行いました。順調に育っているでしょうか。主に小学校5年生の単元「魚のたんじょう」で、ヒメダカは活躍します。毎年、何件か以下のような問い合わせがあります。

「水槽の水が汚れてしまうのです。」

「メダカが死んでしまうのです。」

「どうやったら産卵しますか。」

5年生の担当になると、初めてメダカを管理するという方もいるかもしれません。なかなか経験がないと、生き物の飼育は難しいものがあります。いくつかポイントを紹介します。

◎メダカ飼育のポイント

【①水質を悪化させないために】

メダカの排せつ物や食べ残して水質が悪化します。水質が悪化すると、メダカのストレスになります。まずは適正な数の飼育が、できることが大切です。およそ1Lに1匹程度が適正です。水換えも重要ですが、頻繁に水換えをすると有用なバクテリアが繁殖しません。多くても1週間に1回程度で、3分の1交換するくらいで十分です。うまくいけば、ほとんど水換えはしなくてもよくなります。ただし、どちらの場合も汲み置きの水を使いましょう。また、バクテリアを繁殖させやすくするために、水槽の底に赤玉土や砂利とろ過装置を入れると良いです。



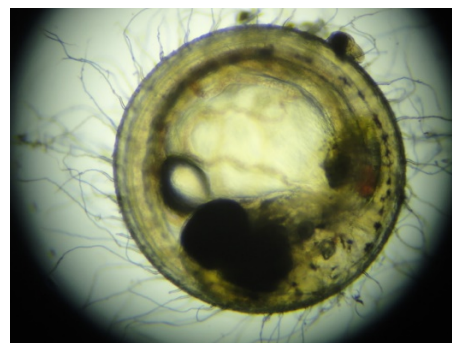
教育センターの水槽です。砂利とろ過装置で水質を整えています。

【②病気から守るために】

各学校のメダカの体の表面に、白い点がついているメダカはいませんか？白点病が疑われます。そのメダカは別の水槽に入れてあげて0.5～1.0%程度の食塩水に入れて、しばらく様子を見てください。回復出来たら、元の水槽に戻してあげて大丈夫です。

【③産卵してもらうために】

メダカは日照時間が12時間以上、水温が20～30℃程度になると、産卵の条件が整います。産卵のためにはエサの量を増やすと産卵しやすくなります。ただし、様子を見て量を調整しないと、水質悪化の原因になるので注意が必要です。市販の産卵用の栄養豊富なエサも非常に良いです。ミジンコをあげられると、非常に産卵率が上がります。



採取した卵を顕微鏡で観察。血液の流れる様子がわかります。